

ヒアルロン酸などの皮膚充填材（ダーマルフイラー）治療を受けた患者さんのモデルナ社製コロナワクチン接種後の反応についての情報提供

米国でヒアルロン酸などの皮膚充填材注入治療をお受けになった患者さんがモデルナ社製のコロナワクチン接種後に注入部位が腫れたという報告がありました。これは同ワクチンの第Ⅲ相臨床試験で15184人接種したうち、3例で顔面、口唇の腫れが出現したというものです。3例はそれぞれ接種の2週間前、6か月前（1例は不明）に充填材の治療を受けていました。3例とも症状はワクチン接種後2日以内に発症しています。またプラセボ群では同様の症状の発現はありませんでした。

その後、ファイザー社製ワクチンでも皮膚充填材注入治療歴がある患者さんで同様の症状が起こったケースが医学論文で報告されています。

米国形成外科学会では以下のように推奨しています。

「15184名の試験参加者中、皮膚充填材の治療歴のある方の人数は不明です。またこれらの症状は局所に限局しており、経口抗ヒスタミン剤やステロイドの内服で軽快しています。従ってこれらの情報でワクチン接種を躊躇する必要はありません。今後も最新データを入手していく必要があります。皮膚充填材注入後の過敏反応についてはヒアルロン酸だけでなく、ヒアルロン酸以外の注入材でも報告があり、インフルエンザのような症状の後に発症することが報告されています。」

米国形成外科学会では今後も最新情報を提供することですので、日本美容医療協会も引き続き皆様に情報提供していく所存です。

またもしこのような症状を認めた患者様がいらっしゃいましたらお近くの日本美容医療協会会員施設でご相談ください。